

概要版

阿南市水道事業経営戦略 2022▶2031

～あなんのおいしい水、しなやかに次なるステージへ～



令和5年1月 策定



阿南市水道部



阿南市水道事業経営戦略 2022▶2031【概要版】

第1章 経営戦略策定の趣旨

1. 策定の背景と目的

阿南市水道事業経営戦略は、将来にわたり安全で安心な水道水の供給を安定して継続できるように、中長期的な視点から経営の健全化と経営基盤の強化を図るため平成30年3月に策定しました。その後、令和4年3月に『阿南市新水道ビジョン 2022▶2028～市民とともに未来へつなぐあなんの水道～』（以下「基本計画」という。）を策定したことに伴い、今後10年間の投資・財政計画を更新し、「阿南市水道事業経営戦略 2022▶2031～あなんのおいしい水、しなやかに次なるステージへ～」（以下「経営戦略」という。）を策定しました。

2. 経営戦略の位置付け

経営戦略は、本市水道事業における中長期的な経営計画と位置付けます。

3. 計画期間

2022(令和4)年度から2031(令和13)年度までの10年間とします。

第2章 事業概要

1. 事業の現況(令和4年4月1日現在)

(1) 給 水

供 用 開 始 年 月 日	昭和16年5月1日	計 画 給 水 人 口	77,540人
法 適 (全 部 ・ 財 務) ・ 非 適 の 区 分	地方公営企業法適用 (全部適用)	現 在 給 水 人 口	66,608人
		有 収 水 量 密 度	0.78千m ³ /ha

(2) 施 設

水 源	☑ ダム , ☑ 伏流水 , ☑ 地下水 , □ 受水 , ☑ その他		
施 設 数	水 源 地 設 置 数	18か所	管 路 延 長 711.46km
	ポンプ場設置数	13か所	
	配水池設置数	21か所	
施 設 能 力	68,619m ³ /日		施 設 利 用 率 43.00%

2. これまでの主な経営健全化の取組

- (1)【料金改定】 :平成29年4月に料金改定を実施(改定率:全体平均 22.9%)
- (2)【民間委託の導入】 :平成24年10月から業務部門(料金収納等)で民間委託を開始
- (3)【クラウド型統合監視システムの導入】
:平成28年4月から「クラウド型統合監視システム」での運用・管理を開始
- (4)【配水系統の見直し】:大地系配水ラインの見直しに伴い、大地水源地进行休止

3. 経営比較分析表等を活用した現状分析(令和2年度決算)

投資面については、「管路更新率」が依然低い数値を示しており、「管路更新率」の低迷が「管路経年化率」の高比率化に表れ、「有収率」等の投資指標は、全てにおいて類似団体平均を下回っています。

財政面については、平成29年4月の料金改定実施後は「経常収支比率」、「料金回収率」の改善が見られ、「流動比率」を含めて良好といえます。しかし、「流動比率」や、特に「企業債残高対給水収益比率」は、類似団体平均を下回り、中長期的には厳しい経営状況に陥ることが予想されます。

今後も財源の確保に努め、施設の効率的な利用及び合理化、老朽化した施設や管路の更新、耐震化事業を計画的に進めていく必要があります。



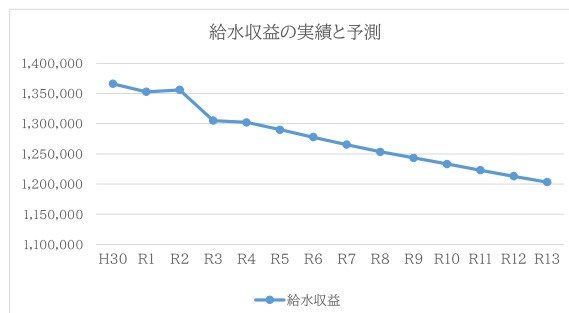
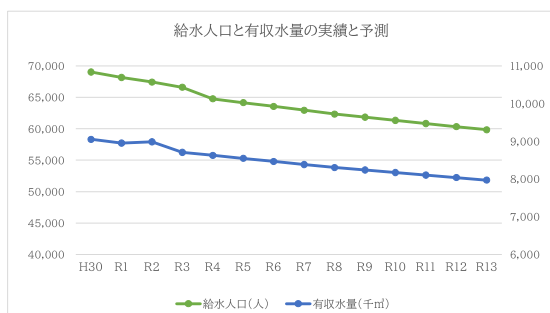
第3章 将来の事業環境

1. 給水人口と有収水量の実績と予測

平成30年度に69,037人あった給水人口は、令和13年度には59,848人まで減少する見込みとなっており、また、平成30年度に9,052千m³あった有収水量は、給水人口の減少等に伴い、令和13年度には7,974千m³になると想定しています。

2. 給水収益の実績と予測

平成29年4月に料金改定を実施し給水収益は増加しましたが、給水人口の減少等に伴う水需要の低迷により、減少傾向は今後も続くものと想定しています。



第4章 経営の基本方針

基本計画における基本理念の実現に向け、水道の将来理想像である「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から本経営戦略における経営の基本方針として、未来につながる水道事業運営を行ってまいります。



第5章 投資・財政計画(収支計画)

1. 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

(1) 収支計画のうち投資についての説明

① 投資計画についての目標

水道事業は、市民生活や都市活動を支える最も重要なライフラインとして、将来にわたり安全・安心で低廉なおいしい水の供給を維持していくため、基本計画における施策目標等を目標指標として今後さらなる老朽化対策や耐震化等を推進します。

② 阿南市水道施設整備・更新計画(令和2年12月 策定)

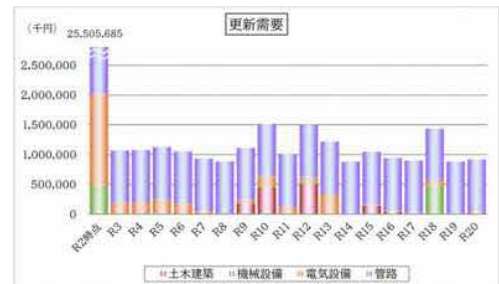
◇ 更新需要

「阿南市水道施設整備・更新計画」(以下「整備・更新計画という。')では、期間内の更新需要は全体で約450億円であり、そのうち令和2年度時点において、既に法定耐用年数を超過している施設に係る更新等事業費は約255億円と試算しています。

◇ 投資試算

膨大な更新需要が積み上がっていることから施設の優先度を考慮し、効果的に施設の整備及び更新を行う必要があり、整備・更新計画期間における実施事業費は約185億円を見込んでいます。

なお、令和13年度までの本経営戦略期間内には、計116億円の建設改良費が必要となる見込みです。

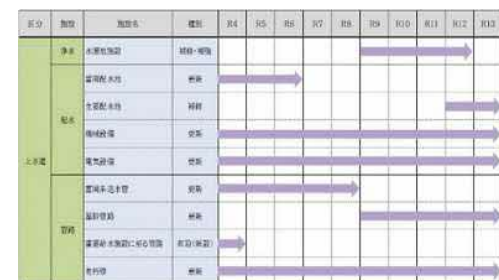
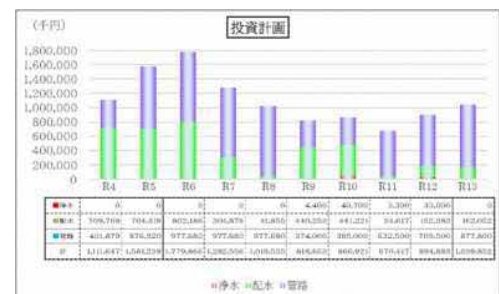


③ 投資計画における年次計画の分析

各施設の施工年次については、富岡配水池関連事業を優先とし、他の事業を適宜調整して実施します。

管路の更新については、更新需要として毎年度約9億円の投資が必要とされますが、整備・更新計画では、管路の更新に係る実施事業費は毎年度約7億円の投資に止まります。

そこで、過大投資とならないよう将来の水需要予測を踏まえ、既存の水道施設・設備の性能の合理化や統廃合を検討するなど経費の削減に努める必要があります。



(2) 収支計画のうち財源についての説明

① 財政計画についての目標

財政計画における全体的な目標としては、当年度純利益や資金(現金・預金)が赤字になることのないよう事業を進めていくこと、企業債については世代間の公平性を考慮し、投資と財源の均衡を図り、企業債の発行を抑えることなど、次の3つの観点に基づいて各財源における目標を設定しました。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| i. 収支均衡していること | → 当年度純利益(黒字)の継続 |
| ii. 資金不足に陥らないこと | → 一定の資金(現金・預金)を確保 |
| iii. 企業債残高の増加を極力抑えること | → 企業債発行額の抑制 |

② 財政計画における各財源の分析

「i. 収支均衡していること」については、人口減少により料金収入、当年度純利益とも減少傾向にあります。当年度純利益は令和13年度まで1億円以上を確保できる見込みです。

「ii. 資金不足に陥らないこと」については、整備・更新計画に基づき令和13年度までに計116億円の建設改良事業を行う計画ですが、この建設改良費の財源のうち、約7割を企業債の発行により確保することとしているため、資金(現金・預金)は一時的に減少しますが、本経営戦略期間内は増加傾向に転じる見込みです。

「iii. 企業債残高の増加を極力抑えること」については、上記のように建設改良費の財源の約7割を企業債の発行により確保した場合、令和13年度末の企業債残高は現状の1.5倍の約95億円になる見込みです。このため、経費削減等の経営努力や余力資金の充当、また、国などからの補助金・交付金の活用などにより、企業債発行額の抑制を図ることが必要です。

2. 原価計算表の策定にあたっての説明

令和13年度までの本経営戦略期間における単年度当たりの収入の見込額は約14億円であるのに対して、その原価となる支出の見込額は約11億円となり、収入が料金対象経費となる原価を上回っている状況です。

3. 投資・財政計画(収支計画)のまとめ・長期的な展望

現状の経営分析をもとに、経営基盤の強化による長期的に安定した水道サービスを提供するため、次の取り組みにより持続的な水道事業運営を行います。

I. 当年度純利益(黒字)の継続

投資の合理化や費用の見直しについて検討し、経営の効率化と経費の削減を目指した取り組みを進め、当年度純利益(黒字)の継続に努めます。

II. 一定の資金(現金・預金)を確保

現状の給水収益の6か月程度に相当する6.5億円の確保に加え、今後の更新需要に対する備えという観点から少なくとも10億円の資金(現金・預金)を確保します。

III. 企業債発行額の抑制

施設の更新等にかかる建設改良費は企業債残高に留意し、資金(現金・預金)からの充当や国などからの補助金・交付金の活用を図ることにより、企業債発行額の抑制に努めます。

長期的な展望として、給水収益は給水人口の減少等に伴い減少傾向が続くことが予想されるため、将来の更新需要等を考慮した長期的な観点から水道料金を検証し、適正な料金水準への見直しによる財源確保の検討は、引き続き必要となります。

第6章 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

基本方針を適正かつ効果的に達成していくために、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)を行います。また、本市水道ビジョンの策定・改定年度に合わせ、本経営戦略についても同時期に見直しを行う予定です。随時フォローアップを行い、その結果等を反映することで更なる経営の健全化に取り組んでまいります。





阿南市水道事業経営戦略 2022▶2031【概要版】

令和 5 年 1 月 発行

発行 阿南市水道部水道課

〒774-8501 徳島県阿南市富岡町卜ノ町12番地3

TEL: 0884-22-3295 FAX: 0884-23-6073

URL: <https://www.city.anan.tokushima.jp>